

岡本 俊

(市民連合)

**富良野市農業及び農村基本計画の取り組みは**

**問** 農家人口、農家戸数の推計から見える課題は。

**答** 農家人口、戸数、就業人口は推計した減少に至っていないが、農家後継者の就農数が確保できない分を新規参入者で補った結果となっている。団塊の世代ジュニアの就農は、ほぼ済んだと思われ、今後、新規就農数を確保することは今以上に困難と見込まれる。このことから、農業・農村を支える担い手確保は、大きな課題と考える。

**問 農地集積の課題は。**

**答** 担い手農家への集積が一層進んだが、面的集積は、充分に進んでいないと考えている。現行基本計画では、面的集積を推進するシステムの構築を目標に掲げていたが、十分機能するシステムを構築できなかったと考えており、農作業効率改善の仕組みづくりを急ぐ必要がある。

**富良野・美瑛世界農業遺産の取り組みは**

**問** 国際連合食糧農業機関が認定する「世界農業遺産」への取り組みを行い、農業・食の安全の大切さを発信すべきでは。

**答** 国内の認定事例は、伝統的農業・農法・農村文化の保全維持に努めている地域のシステムとして認定されている。効果は知名度の高まり、農林産物の付加価値、観光振興にも期待できるが、入植から百数十年と短く、伝統的な農業・農法・農村文化として認められる可能性は極めて低いと考えている。しかし、農業の大切さ、食の安全安心は本市から発信を考えている。



芦別岳を望む農村風景

**議会改革特別委員会**

■議会改革の取り組みについて

平成25年3月19日に設置された第5次の議会改革特別委員会は、残りの任期において、議会基本条例、議員定数、常任委員会の所管の在り方について、スピード感を持って取り組むこととしました。

その後4月には「議員定数と議会の機能について」議員間で自由討議を行い、二元代表制の下での市議会の役割と定数に関し積極的な発言がありました。

翌日の議会改革特別委員会では、自由討議における議論経過を基に協議を行い、いま一度基本に立ち返り議会改革に関わる議員研修会を開催し、さらに自由討議を行うこととしました。

**委員会の動き**

このことから、5月下旬に地方議会研究会代表・元全国都道府県議会議長会議事調査部長、野村稔氏を招いて、「地方議会の役割と改革について」をテーマとして、①議会改革の必要性と進め方、②本会議関係の改

革、③委員会の改革、④住民との関係での改革、⑤議員の定数と報酬について、議員研修会を開催してきました。

研修後、議員定数について改めて自由討議を開催し、委員会活動の活性化、チェック機能と議員定数、議会の役割、議員の役割などについて多くの意見が出されました。

なお、議会報告会は、今後3班集体で市内15か所において開催を予定しています。

議会改革特別委員会報告を行う中で市民皆さんの意見をお聞きし、議会で定数議論を深めていくこととしています。この機会に、各世代から多数参加くださるようお願いいたします。



議員研修会風景